

農場HACCP認証取得に向けた取組支援

■ 農場HACCP認証取得を目指す経営体 ■

(東讃農業改良普及センター ○政木哲哉、田頭梨華)

●対象の概要

管内の畜産農家は、経営者の高齢化や担い手不足、さらには飼料価格の高騰等による経営悪化から減少傾向にある。

こうした中、一戸当りの飼養頭数は増加し、畜産経営の効率化が図られている一方、家畜の事故や品質の低下、家畜伝染病予防対策等が問題となっており、畜産農家における飼養衛生管理技術の向上が重要な課題となっている。

表 ー1 管内の畜産の概況

区分	戸数	頭羽数(頭・千羽)
牛(乳用牛・肉用牛)	80	9,662
豚	6	7,141
鶏	20	1,416

●課題を取り上げた理由

近年では、食の安全性に対する社会的関心が高まっているほか、各農場では規模拡大に伴い従業員が増加しているため、従業員に対する教育が課題となっている。そのため、飼養管理に関する各種マニュアルや生産管理システムを構築し、農場内で共有化する農場HACCPの取り組みを支援することとなった。

農場HACCPは、畜産物の生産者自らが家畜の伝染病の発生予防・まん延防止及び畜産物の安全性確保のため、家畜の導入、原材料・資材の入荷から畜産物の出荷に至る全工程の中で、特に重要な工程の管理ポイントを設定し、継続的に監視・記録を行うことにより、農場段階で危害要因(微生物、化学物質、異物など)を除去又は低減させる衛生管理の手法である。県内での農場HACCPの取り組みは、これまでに肉用牛と養豚で各1農場の法人が認証を取得しているが、管内では認証農場が無く、指導のノウハウが不足していることから県畜産協会や家畜保健衛生所、農業経営課と連携して

農場HACCP認証の取得を推進していくとともに、農場HACCP認証制度を活用した飼養衛生管理システムの構築に向けて支援していくこととした。

●普及活動の経過

1 指導體制の整備

県畜産協会、家畜保健衛生所、農業経営課、普及センターが連携して支援チームを結成し、認証取得を目指す経営体に対して、毎月、定期的にHACCP会議を開催し、文書の作成や記録方法を指導するなど農場HACCPシステムの構築に向けた支援を行った。



HACCP会議

2 コミュニケーションづくりを支援

農場内のコミュニケーション不足により、トラブル発生につながる事例が生じていたため、農業法人の従業員を対象に、HACCP制度の説明や家畜衛生管理の重要性について理解を促した。

研修のテーマに関しては、農場管理者と事前に改善が必要な課題を聞き取りし、研修テーマに応じて関係機関が講師を務め、定期的に研修会を開催した。

3 担当職員の資質向上

農場HACCPシステムへの理解を深めるとともに、認証基準及び飼養衛生管理基準に準拠した農場指導を行うため、自ら農場指導員の資格を取得するとともに、有資格者が実践的な農場HACCP構築に向けた指導ができるよう、農場指導員力量向上研修を受講した。

●普及活動の成果

1 農場HACCP認証農場の取得

認証取得と家畜衛生管理に係る意識啓発など農場HACCPシステムの構築・運営に関する会議を定期的で開催するなど継続的に支援を行った結果、大規模酪農経営を営むS法人が公益社団法人中央畜産会（審査機関）の初回審査を受審し、令和4年12月に管内で初となる農場HACCP認証を取得した。

また、大規模肉用牛経営を営むY法人が令和5年1月に2つの農場において農場HACCP認証を取得することができた。

認証審査においては、2農場とも事前審査の段階で文書システムの構築ができていたため、是正措置報告の必要はなかった。次回の維持審査や更新審査でも、万全の状態で受審できるよう関係機関と連携して支援を行う。



農場HACCP認証審査

2 飼養衛生管理の改善

生乳の乳質や子牛の事故率など農場の衛生管理目標を具体的に掲げ、毎月、農場管理者、従業員、関係機関によるHACCP会議を開催する中で、農場の問題点が明らかとなった。

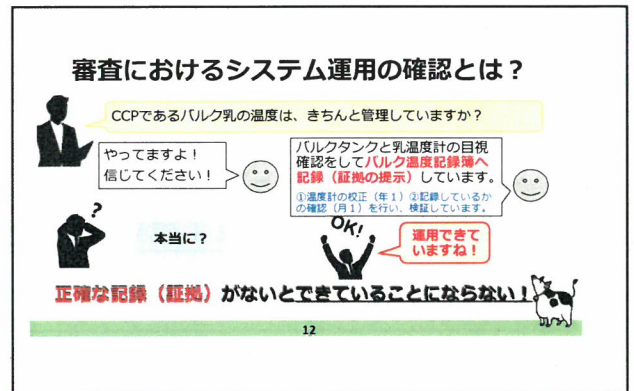
酪農のS法人では、乳質向上に向けた搾乳方法の見直しが検討され、生乳の体細胞数をHA

CCP取組前と比べて最大で約20%減少させることができた。

また、HACCP計画や一般的衛生管理プログラムなど各種の文書や記録を検証することにより、事故が発生した場合の検証と再発防止対策を速やかに講じることができ、農場の衛生管理に対する意識が高まった。

3 農場従事者の資質向上

農場の従業員を対象に、農場HACCPで求められている記録の重要性についての研修を実施し、記録付けの意義や記録方法に関して理解を深めるとともに、注射針や抗生物質の管理など各種の記録が正確に実施されるようになり、従業員に安全な畜産物を生産しているという意識が根付くようになった。



農場従事者を対象とした研修会資料(抜粋)

●今後の普及活動の課題

農場HACCP認証を取得した法人の経営内容を数値化（見える化）し、PDCAサイクルによる衛生管理システムの継続的な見直しを指導していくとともに、当法人が自主的かつ継続的に農場HACCPシステムに取り組む体制整備を構築する必要がある。

また、農場従事者に対しては、支援チームによる教育訓練など研修支援を継続・強化し、人材の育成並びに作業に係る早期養成と高位平準化により、農場従事者のモチベーションアップにつなげていく。

さらに、管内ではHACCPの他にGAP認証農場が2経営体あり、引き続き更新に向けた自主的な取組みを支援する。